

飼料用トウモロコシの新しい優良品種「TX1241」

福島県農業総合センター畜産研究所 飼料環境科

部門名 飼料作物－飼料作物－品種

担当者 片倉真沙美・遠藤幸洋・吉田安宏・中村フチ子・武藤健司・菅野登

I 新技術の解説

1 要旨

飼料自給率の向上を図るため、本県の気象条件等に適した飼料用トウモロコシ品種の選定を行った。

「福島県優良品種(輸入 F1 サイレージ用トウモロコシ)総合評価基準」(平成 17 年改訂)に基づき評価した結果、「TX1241」は優良な品種であった。

(1)「TX1241」は、出芽から黄熟期までの日数が 110 日の早生タイプである(表1)。

(2)「TX1241」は、10 アール当たりの乾物収量、及び TDN 収量が標準品種より多い(図1)。

(3)「TX1241」は、標準品種と比較し、紋枯病の発生が少ない(表2)。

2 期待される効果

安定した自給飼料生産が期待できる。

3 適用範囲

平坦部の飼料用トウモロコシ一期作地帯

4 普及上の留意点

(1) 病害や倒伏を軽減するために、適期播種を行い、栽植密度は 7000 本/10a 以下とする。

(2) 早晩生のタイプは品種カタログの RM 値によって分類しているが、品種選定に当たっては生育日数も考慮する。

(3)「TX1241」は、タキイ種苗から「ロイヤルデント TX1241」として販売されている。

Ⅱ 具体的データ等

表1 「TX1241」の生育特性比較(2013～2015 年)

	RM (カタログ)	生育日数(日)			稈長 (cm)	着雌穂高 比率(%)	倒伏・折損率(%)		
		播種～出芽	出芽～絹糸	出芽～黄熟			倒伏率	折損率	合計
(検) TX1241	110	9.7	62.7	112.3	272.5	47.2	1.6	1.6	3.2
(標) 36B08	106	9.7	62.7	112.0	229.8	48.3	2.4	2.4	4.8
(標) KD640	114	10.0	69.3	117.5	272.4	46.7	0	0	0

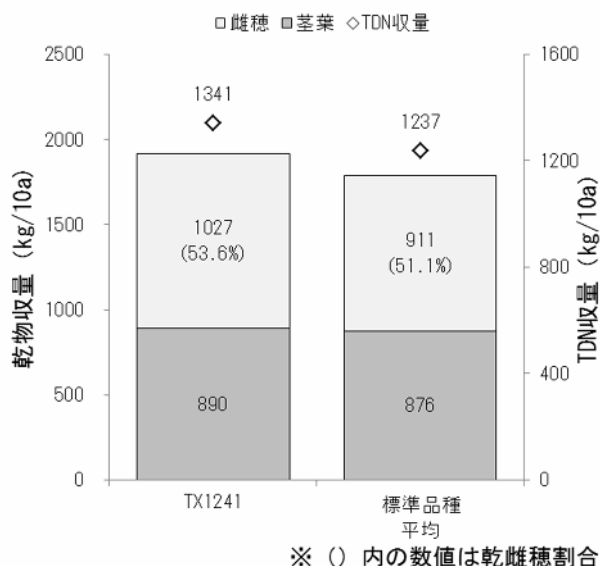


図1 「TX1241」と標準品種の収量比較(2013～2015 年)

表2 「TX1241」と標準品種の病害発生程度比較(2013～2015 年)

		すす紋病 (1～9) ^{注1}	ごま葉枯病 (1～9) ^{注1}	黒穂病 (%)	根腐病 (%)	すじ萎縮病 (%)	紋枯病 (%)
(検)TX1241	H25	1.5	2	1.2	1.2	0	0.2
	H26	2.5	2	0.6	1.2	0	8.9
	H27	1	1	4.2	0	0	0
	平均	1.7	1.7	2.0	0.8	0	3.0
標準品種平均		1.6	1.4	0.4	1.0	0	8.4

注1) 病害がみられないものを1、甚だしいものを9として表示

Ⅲ その他

1 執筆者

片倉 真沙美

2 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 25 年度～27 年度
- (2) 研究課題名 飼料用トウモロコシ奨励品種選定試験

3 主な参考文献・資料

なし